



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木 東雄 幹事：坂本 佳友 発行：会報・広報委員会

第 2963 例会 (42号) 2015 年 5 月 7 日 (木) 晴

会員卓話 SPEECH

「広報」について

福島民報社いわき支社長

浅倉 哲也 会員



本日は「広報」をテーマに話をさせていただきます。

まず、ロータリークラブ活動における「広報」について、お話しします。「ロータリアンの手引き」によりまず「個々のロータリアンの責務」として「ロータリアンは、地域社会におけるロータリーの発展と奉仕活動を改善するために、ロータリーとは何か、ロータリーは何をしているのかについて、自らほかの人々に知らせることによって、クラブを紹介するよう求められている」となっています。会員の皆さん一人一人に、世間に対してロータリーを正しく理解してもらえよう努力することを促しているのです。

さらに、広報委員会の役割として「一般の人々にロータリーの情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、これを実施する」となっています。「手引き」では報道機関との関係についても事細かく示しています。中でも、報道機関との関係向上はもちろんです。ロータリーの目的や活動への誤解から生まれる否定的な世論に対する警戒を指摘しています。報道機関には逐次、情報を提供し、質問には的確に答えて良好な関係を築き、味方になってもらうことが大切なのです。

さらに、広報委員会の役割として「一般の人々にロータリーの情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、これを実施する」となっています。「手引き」では報道機関との関係についても事細かく示しています。中でも、報道機関との関係向上はもちろんです。ロータリーの目的や活動への誤解から生まれる否定的な世論に対する警戒を指摘しています。報道機関には逐次、情報を提供し、質問には的確に答えて良好な関係を築き、味方になってもらうことが大切なのです。

話題を替えて今度は私の会社について広報をさせていただきます。福島民報社は昨年秋、日本新聞協会賞を編集部門と経営・業務部門の2部門で受賞しました。いずれも東日本大震災と原発事故に絡んだ取り組みを評価されました。編集部門は「原発事故関連死」という新たな言葉を生んだ報道や連載に対して、経営・業務部門は県民の代表を委嘱した「復興大使派遣事業」が対象になりました。

このうち、私は昨年、復興大使派遣事業などを担当する社内の委員会を預かりました。復興大使は県内の中学生以上から復興に向けた決意や未来の福島をつくる考え、夢などを募集して、選んだ人を福島県以外の46都道府県と海外に派遣する事業です。訪問先で本県の現状を伝え、古里の再生に向けて頑張っている姿をアピールしてきました。平成24年度から始まり、過去3年間で計160人を派遣しました。国内は当初の2年間で主に都道府県庁や県内の自治体の友好都市などを巡り、震災直後の支援などに対して謝意を示してきました。去年は、まちづくりや人材育成などの先進地を訪ね、古里の再生に役立つことを学んできました。海外には初年度がロンドン、2年目はニューヨーク、3年目はパリに中・高校生らを派遣し現地の人々と交流を図りました。先ほどロータリー活動でも出ました「誤解」という言葉以上に、私たちには「風評」「風化」という言葉が重くのしかかっています。復興大使も行く先々で「大変ですね」「放射能が心配でしょう」と声を掛けられました。そんな時、笑顔で「大丈夫です」「みんな元気に頑張ってます」と答えるだけで納得してくれました。

皆さんにお配りしたのは今年度の復興大使の募集資料です。今回は大使の派遣と併せて、県外から本県の現状を見てもらう特別大使招へい事業も行います。会員の皆さんには、お近くの方々に、ぜひ紹介していただければ幸いです。

復興大使には毎年、いわき市の中・高校生、大学生、社会人が複数入っています。原発事故で市内に避難している双葉郡の方々もいます。派遣の際は、我が社の社員も同行しているのですが、終了後に進学や就職、その後の社会活動で必ず福島県や古里の役に立てるよう決意を語ったり、行動したりしていることに大いに刺激を受けています。社員は復興大使とともに、ふくしまを「広報」する重要性をあらためて認識するのです。

◆ 幹事報告

○いわき常磐RCより5月プログラム予定表と会報が届きました。



2014~2015年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

LIGHT UP ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：坂本幹事

〔点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング（我等の生業）・ロータリーの目的（鈴木浩会員）・四つのテスト（飯野光世会員）〕



鈴木浩会員



飯野光世会員

★結婚祝

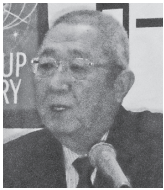


鈴木東雄さん
(5月2日)



坂本佳友さん
(5月11日)

◆会長挨拶ならびに報告



民族移動の連休も終わり、ひと段落ということで、私事ですが、昨日、娘が帰り普通の生活に戻れそうです。暑かったり、涼しかったりの気候ですが、5月2日は立春から数えて88日目の八十八夜でした。私の子供の頃は八十八夜前後に、米作りの元である種をまいて苗代を作る作業が行われており、季節感を味わえたものです。最近は苗作りは集団で別の場所で行われ、苗代が見られなくなり残念です。また、茶畑で茶摘みが始まるのもこの時機で、自家製のお茶を作っていた頃を懐かしく思い出します。

二十四節気の一つである夏が始まる「立夏」は昨日の5月6日でした。8月8日の「立秋」の前日までが夏になります。夏といっても、しばらくは過ごしやすい日が続く頃です。北海道の根室あたりは今年は暖かったため、少し早く桜が満開になったと聞きました。我々の感覚から言うと、まだ春の真っ盛りの感じがしますが、二十四節気は古代中国の黄河流域でつくられ日本に伝わったため、季節感にズレが生じるものと考えられます。

今日は、先日の地区大会で表彰を受けられた方に伝達したいと思います。

- 新会員入会者数上位 10クラブ 第4位
- ロータリー財団寄付
 - ・年次寄付 第10位 (2014/6/30 現在)
 - ・ポールハリスフェロー 2013～2014 認証の方
松崎 浩・大久保健蔵・関口 武司
 - ・マルチプルポールハリスフェロー
志賀 弘昌 3回
- 米山功労者
メジャードナー 松村 耕三 14回

- マルチプル
 - 飯野 光世 5回
 - 大久保健蔵 2回
 - 伊藤 盛敏 2回
 - 松崎 倫久 2回
- ガバナー補佐（地区運営） 越智 正典
- 永年在籍 30年 吉田 仁平
40年 黒須 幸雄
- 91歳以上会員 清水 俊政 (91歳)



委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メンバー数
5月7日	50名	27名	—

◆ロータリー財団委員会（森雄治委員長）

志賀弘昌さん、飯野光世さん、松崎倫久さん。
以上3件

◆米山記念奨学会委員会（代理・森雄治会員）

志賀弘昌さん、飯野光世さん。 以上、2件

◆スマイルボックス委員会（高橋康二委員）

♥鈴木東雄さん（結婚祝ありがとうございます。浅倉さん卓話よろしくお願ひします）♥松崎浩さん（浅倉さん卓話よろしくお願ひします）♥坂本佳友さん（結婚祝ありがとうございます）♥黒須幸雄さん（あるゴルフ会で優勝しました。浅倉さんの卓話よろしく）♥伊藤盛敏さん（なんとなく）♥佐々木芳弘さん（100%皆勤賞有難うございます。山崎慶一さんの素晴らしい卓話。有難うございました）♥新田俊彦さん（3ヶ月皆勤賞ありがとうございます）♥阿部弘行さん（浅倉さん卓話楽しみです。早退します）♥鈴木浩さん（浅倉さん卓話よろしくお願ひします）♥志賀弘昌さん（浅倉さん卓話よろしく）♥松崎倫久さん（浅倉さん卓話よろしく）♥森雄治さん（浅倉さん新人卓話よろしくお願ひします）♥飯野光世さん（浅倉さんの卓話楽しみにしてます）♥関口武司さん（浅倉さん卓話宜しくお願ひします）♥石井隆幸さん（浅倉会員、卓話よろしくお願ひします）
以上15件

★本日の例会案内 5月14日(木) PM12:30～
会員卓話 松崎浩会員
お食事メニュー=チキンソテー 温野菜添え

★次回の例会案内 5月21日(木) PM12:30～
会員卓話 八幡恭朗会員
お食事メニュー=天麩羅うどん、青豆ごはん